

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 西興部村

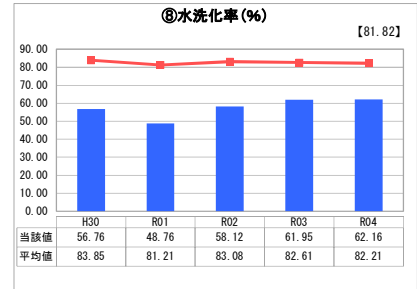
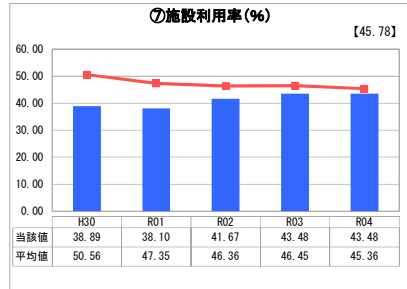
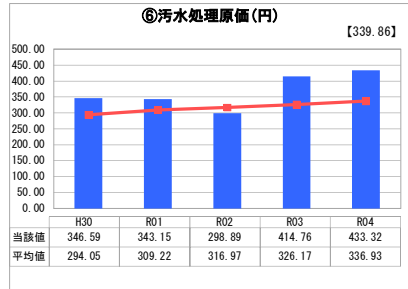
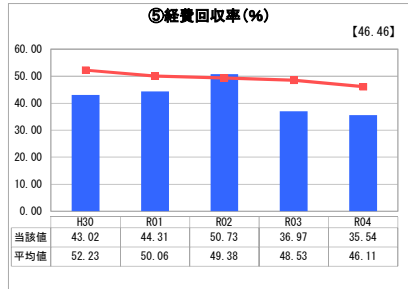
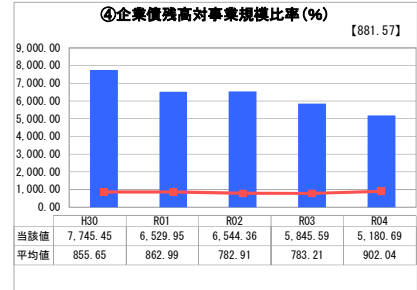
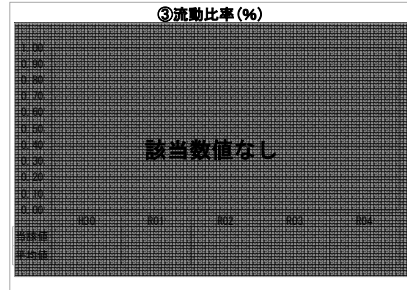
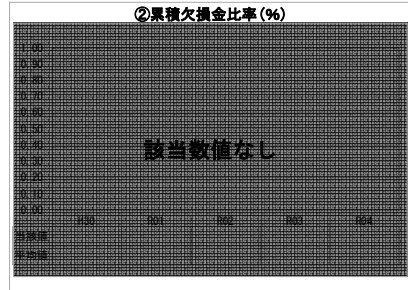
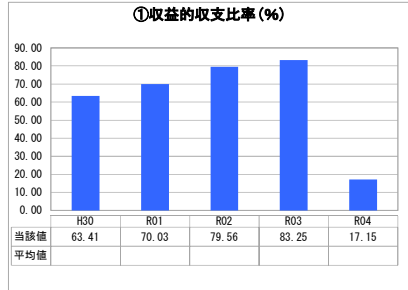
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.88	100.00	2,970

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,030	308.08	3.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
111	308.00	0.36

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

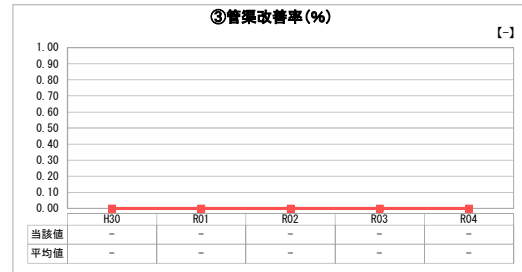
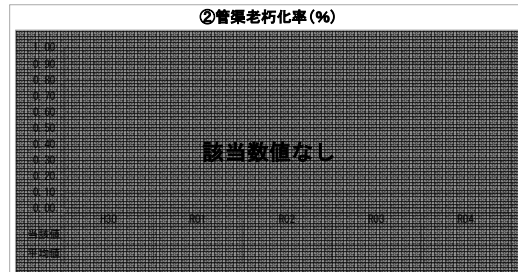
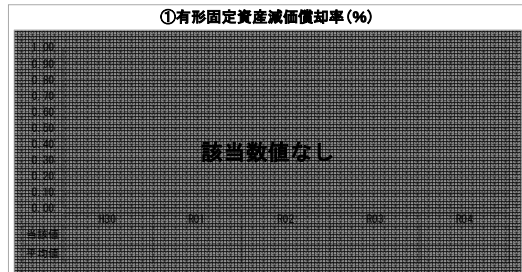
1. 経営の健全性・効率性について

当事業は、公共下水道区域外における合併浄化槽設置及び維持管理を行う事業である。
 令和4年度については、汲取り料増額に伴う総費用の増、地方債償還金の増により、収益的収支比率及び経費回収率の低下、汚水処理原価が増となっている。
 特に収益的収支比率の減については、総費用の増に伴うもの他、一般会計繰入金の充当比率見直しによるものであり、減となった分については資本的収入に充当されているところではあるが、今後においては汲取り費用の見直しをした上で使用料の改定も視野に入れていかなければならない。
 現在設置件数が23件と少数であること、また汲取り料の増大により料金収入だけで賄うことは不可能であり、一般会計繰入金が不可欠である。

2. 老朽化の状況について

平成15年度に事業着手し、最も古いもので20年程度経過。浄化槽の本体耐用年数が30年程度であるため、定期的な点検・修繕を実施していく。プロワポンプについても常時運転であるため、定期的な更新が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

公共下水道区域外の水 flushing 率向上を目指しているが、単独浄化槽の設置家庭、また、水洗化予定のない高齢者世帯の住宅があるため、今後の合併浄化槽設置向上は難しい状況にある。
 経費においては常に見直しを行い無駄なく適正な維持管理に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。